



CHIBA UNIVERSITY

Always Aim Higher



千葉大学基金

ご寄付のお願いと2025年度活動報告

チャレンジを支え、人を育てる
千葉大学基金です。



ホームカミング&サンクスデー開催

2025年11月、卒業生とご寄付をしてくださった方々をお招きし、学生や教職員の活動成果報告や合唱、交流会などで本学の「今」と「みらい」を語り合う一日となりました。

看護学部創立50周年記念事業

2025年12月、愛子内親王殿下ご臨席のもと、式典を挙行了しました。殿下からは、看護師・保健師・助産師の養成や、学問としての看護学確立に貢献してきた本学の努力への敬意と、今後の発展を願うお言葉を賜りました。



国内で唯一の「全員留学」

グローバル人材育成プラン「ENGINE」の一つ、全学生が在学中に留学を経験する国立大学で唯一の「全員留学」制度を通じて、高度な課題解決能力を養います。



千葉大学の教育研究活動に、温かいご支援をありがとうございます

千葉大学は1949年の発足から77年を迎え、現在は11学部9大学院からなる総合大学に発展し、学部入学志願者数は11年連続で国立大学1位を誇っています。2025年、本学は新たなビジョン「生命・環境、そして社会へ。知の共鳴で未来を拓く千葉大学」を掲げ、「研究」「教育」「社会貢献」「経営」「信頼」の5つを柱に、複雑化する社会課題に挑む研究と次代を担う学生の育成を目指しています。

しかし、国からの交付金が減額されるなか、学生や若手研究者が安心して学び・研究に挑める環境は年々厳しさを増しており、今日では、多様な教育研究を実現するため、才能と未来ある若者を応援してくださる多くの皆様からのご支援が欠かせません。昨年度は「修学支援基金」「若手研究者支援基金」「千葉大学いずみ医療基金」などを通じて

およそ3億円のご寄付を頂戴し、経済的困難を抱える学生への奨学金給付や大学院生及び若手研究者への研究支援に活用させていただきました。皆様のご厚情が「未来への投資」として芽吹き、優れた人材を輩出すると同時に、多岐にわたる研究成果が社会に還元されていくことを喜ばしく感じています。

千葉大学は、皆様と共に、未来に向けた新たな価値を創造したいと考えていますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

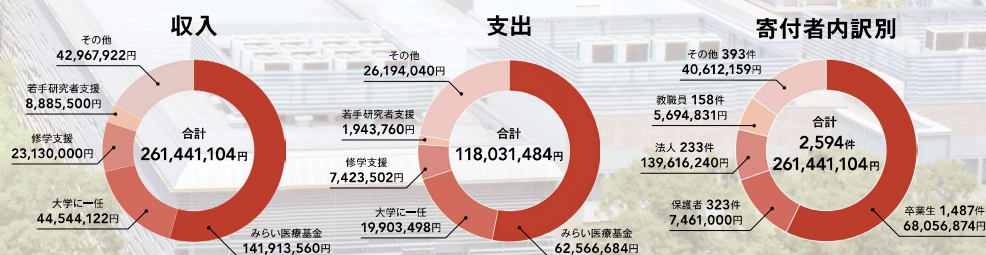
国立大学法人 千葉大学長

横手幸太郎



2025年度ご報告

寄付総額 **2億 6,144万円** 寄付件数 **2,594件**



大学に一任

際立った業績と学ぶ意欲を併せ持つ学生への奨学金給付や留学支援、学生への食の支援など、学生の学ぶ基盤を整えます。

優秀かつ意欲のある学生への支援

学長表彰を機にパプアニューギニアへ。 「動物と人の共生」で社会を救いたい。

憧れの作家と同じ文化人類学の道へ進み、修士課程では学長表彰をいただきました。皆様の支援により念願のパプアニューギニア調査が実現。現地で学んだ知見を、将来は国内外の獣害解決に役立てたいと考えています。温かいご支援、本当にありがとうございました。



大学院人文公共学府
博士後期課程1年※
笹本 美和さん

食への支援

食への支援は、日々勉学に励む 学生たちへの大きな支えです。



普段から自炊していますが、日々原材料の高騰を感じています。そんな中、食の支援をしていただける事に大変感謝致します。ありがとうございます。

寄付していただきありがとうございます。1人暮らしなので、朝食を自分で用意せざるを得ないのはすごくありがたいです。



大学院園芸学研究科
博士後期課程3年※
村上 善明さん

都市の歴史を紐解き、 街の成り立ちを次世代へ。

多大なるご支援に心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、香港での国際学会にて日本の公園緑地の歴史に関する成果を世界へ発信できました。この経験を糧に、将来は大学教員として自らの知見を次世代へ繋ぎ、後進の育成に貢献したいと考えています。



修学支援

学びたい気持ちをまっすぐに。経済的な不安を安心に変え、学生たちのひたむきな挑戦を支えています。

「数学で世界の人々と議論がしたい」 そんな私の背中を推した 恩師の言葉と基金の支援。

私は、数学を用いて情報を正確に伝達する「VT符号」の研究をしています。英語力への不安から留学を迷っていましたが、指導教員の「留学で得られるものは大きい」という助言と基金の存在が大きき後押しとなり、シンガポールへの渡航を決意できました。



大学院融合理工学府
博士前期課程1年※
米光 将大さん



現地では自ら滞在期間の延長を申し出て議論に没頭。皆様がくださった「一歩を踏み出す勇氣」と貴重な機会を糧に、現在は英語論文の執筆や、自主ゼミを通じた後輩への知見還元に励んでいます。

企業様からのMESSAGE



修学支援基金に込めた、私たちの想い



この度は、貴学の「修学支援基金」を通じて、未来を担う学生の皆様を支援できる機会を頂き、大変光栄に存じます。私自身、若い頃にバックパッカーとして世界120か国を巡った経験が、経営者としての視座を養う確固たる土台となりました。異国の地で得る驚きや葛藤こそが、人を成長させる最高の糧であると確信しております。

弊社は千葉市に根差し、資源の再生や環境適応型インフラを通じて循環型社会を支えています。資源を大切に守り、次へと繋ぐ私たちの仕事と同様に、学生という「次世代の宝」が経済的理由で挑戦を諦めることなく、広い世界へ羽ばたける環境を支えたい。そんな想いで寄付を決意いたしました。

どうか恐れず外の世界へ飛び出してください。皆様の経験が将来の日本を豊かにする力になると信じ、心より応援しています。

株式会社キープエックス代表取締役 齊藤 進氏

若手研究者支援

大学院生を含む学生又は不安定な雇用状態にある研究者等の研究活動を支援します。



学生からのお礼
メッセージ動画はこちら



科学の楽しさを伝えたい。 基金の支援が結ぶ、 あくなき技術への挑戦

私は、電気化学で「光の色」を自在に制御する研究をしています。高価な試薬費が課題でしたが、基金の支援により納得いくまで試作を繰り返すことが可能となり、従来1時間を要した制御を約100秒にまで短縮できました。この成果により、学会で優秀ポスター発表賞をいただきました。支援のおかげで「実験を途切らせない環境」を守ることができ、心より感謝しています。春からは光学メーカーの研究職として、世界中の人々に科学の驚きと喜びを届けてまいります。



融合理工学府
博士後期課程3年※
藪田 龍人さん

個別プロジェクト

さまざまな学びの現場での挑戦を支え、学生・教育活動の可能性を広げています。

学部支援

11学部のいずれかを指定して支援することができます。

日本一の栄冠を経て中国へ。 ランドスケープデザインの可能性を追い求めたい。

私は、汚染土壌を含む「ブラウンフィールド」のデザイン再生を研究しています。皆様の支援で参加した日本造園学会主催のコンペでは、日本一に輝くことができました。プロとの議論を通じ、提案を現実化するプロセスを学べたことは最大の収穫です。支援のおかげで将来の指針が定まり、充実した研究生活を送れています。この成果を糧に、将来はランドスケープの力で社会に恩返しをしたいです。



大学院園芸学研究科
博士前期課程2年※
山下 瑞貴さん

環境ISO 学生委員会

里山保全やSDGs連携など地域社会で活動しています。



アジアで開催する大会で「銀賞」を受賞。 世界で響いた学生主体の環境活動。

2026年2月、アジアの大学ネットワーク「ASCN」の第10回大会で1年生3名が20年にわたる活動成果を英語でプレゼンし、銀賞に輝きました。この挑戦は、京葉銀行からのご寄付により実現したものです。社会を変える力強いメッセージを届けることができ、「活動が世界で通用すると自信になった」と語る若きリーダーたちの躍進に今後もご注目ください。



環境ISO学生委員会
ホームページはこちら

環境への取り組み
に関する情報はこちら

企業様からのMESSAGE



株式会社フジクラ

フジクラは千葉県佐倉市に主要拠点を置き、「つなぐテクノロジー™」を通じて社会貢献を目指すメーカーです。多彩な研究分野と高い専門性を誇る千葉大学は、地域や産業界にとっても大切な「知の拠点」であり、私たちの事業や研究開発に多くの可能性を感じさせてくれる存在です。

今回の寄付が、学生・研究者の皆様がフジクラを知っていただくきっかけとなり、将来に向けて互いに刺激し合える関係へつながることを願っています。皆様の自由な発想や挑戦が新たな価値を生み出し、一人ひとりの未来を切り拓く力となることを心より応援しております。

附属 学校園

附属小学校統合60周年を迎えます。幼稚園、中学校も運営しています。

次代を担う子どもたちのために、そして 千葉県、千葉市の教育のさらなる発展のために。

附属小学校は令和8年度に統合60周年を迎えます。本校はこれまで「自主・協働・創造」の理念のもと、地域教育の課題に応える研究推進と、次代を担う児童の育成に努めてまいりました。この節目を機に、安全で充実した学びの環境整備(教室照明のLED化、防犯設備・プール設備の更新等)を進めてまいります。子どもたちの未来と地域教育のさらなる発展のため、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



※掲載している学生の年次は2025年度時点のものです。

ご寄付のお申し込みについて

千葉大学基金ホームページ
https://kikin.chiba-u.ac.jp/

千葉大学基金

検索

ご寄付のお申し込みはこちら→
https://kikin.chiba-u.ac.jp/howto



ご寄付の目的とお支払方法をお選びください

ご寄付の目的 以下のメニューからお選びいただけます。

大学に一任
幅広く教育研究活動事業に活用させていただきます

修学支援 **税額控除対象**
経済的に不安を抱えている学生を支援します

若手研究者支援 **税額控除対象**
不安定な雇用状態にある研究者等の研究活動を支援します

個別プロジェクト
学部もしくは特定の活動・プロジェクトから支援先をお選びいただけます

■ 学部の教育・研究を支援します

・国際教養学部
・文学部
・法政経学部
・教育学部
・工学部
・医学部
・情報・データサイエンス学部
・園芸学部
・理学部
・看護学部

■ 特定の活動やプロジェクトを支援します

・みらい医療基金(医学研究支援)
・研究支援基金(イノベーション創出)
・専門治療研究科の支援
・体育館ヨット部の活動支援
・環境ISO学生委員会の支援
・体育館滑艇部の活動支援
・災害治療学研究所の支援
・ダイバーシティ推進
・教育学部附属学校園の支援
・卓越大学院プログラムの支援
・アントレプレナリシップ教育支援
・国際教養学部創立10周年記念事業

※詳細は別紙のプロジェクトコード一覧または千葉大学基金HPをご確認ください。

お支払方法

インターネットを使った
**クレジットカード、
Amazon Pay、
PayPay**での
お申し込みが便利です

パソコン・スマートフォンからアクセスし、場所
や時間を問わず簡単にお申し込みいただけます。

振込用紙でも
ご寄付いただけます

同封の所定様式(払込取扱票)にご記入の
うえ、銀行・郵便局の窓口からお振込みくだ
さい。インターネットから払込取扱票を請求
することも可能です。

←払込取扱票(振込用紙)の
ご請求はこちらから

本学でご入金の確認が取れ次第、
「寄付金領収書」「寄付金控除の証明書」
を郵送いたします。

※寄付金控除の証明書は、修学支援
および若手研究者支援へのご寄付に
限り発行・郵送しております。

ホームページでのお申込み手順

※ スマートフォンからお申し込みいただく際の画面イメージです。
パソコンやタブレットでは表示が一部異なる場合があります。

1 ホームページ下部の「寄付する」もしくは
寄付メニュー一覧の「寄付する」ボタンを
クリックしてください。

2 ご寄付の方法をお選びください。

3 寄付情報、申込者情報、決済情報を
入力の上、「入力内容確認へ」を
クリックしてください。



※Amazon Payの場合、一部の表示項目が異なります。

単回のご寄付のほか、自動的にご寄付いただける便利な継続ご寄付もございます。
継続ご寄付は、毎月、年2回、年1回の中からお選びいただけます。

遺贈とは...

遺贈とは、遺言書をつくり、遺言執行者を通じ自らの意思で特定の人や団体に遺産を贈り、寄付することをいいます。
千葉大学基金に遺贈された財産は、相続税の課税対象になりません。

遺贈、ふるさと納税、古本募金もお受けしています

遺贈 によるご寄付

遺贈によるご寄付をご希望の場合は、千葉大学基金室遺贈担当までご相談ください。

お問い合わせ 千葉大学基金室 遺贈担当 TEL:043-290-3902

ふるさと納税
によるご寄付

千葉市へのふるさと納税で「千葉市大学支援寄付金」を選択し、
支援先として千葉大学をお選びください。

古本募金
によるご寄付

千葉大学附属図書館1階総合カウンター横「古本回収ポスト」、
もしくは「チャリボン」より支援先として千葉大学をお選びください。

チャリボンから
のご寄付はこちら→



1 事前相談



千葉大学基金の担当者が
お話を伺いながら、ご意思に
沿った活用プランをご提案
します。

2 「遺言執行者」と 「通知人」の決定



遺言内容を執行する「遺言
執行者」とご逝去の事実
を遺言執行者に通知する
「通知人」をあらかじめ
遺言書の中で指定しておく
ことが一般的です。

3 遺言書の作成



専門家とご相談の上、遺言書
の作成をお願いします。
その際、遺贈先を国立大学
法人千葉大学「千葉大学
基金」とご指定ください。

4 遺言書の 保管・管理



千葉大学への遺贈の際に
お助めする、より安全で
確実な「公正証書遺言」方式
にて遺言書を作成される
場合、原本は公証役場に
保管されます。

5 ご逝去後 寄付実行・受入



遺言に基づき寄付が実行
されます。学生支援や教育
研究環境の整備などに活用
させていただきます。

相続財産からのご寄付

遺言によらず、ご遺族の遺志により相続財産からご寄付いただくことも可能です。
この場合も、一定の条件のもと相続税の非課税措置が可能です。

使途のご希望がある場合は

生前にご自身やご家族のご意思をお伺いしながら一緒に検討させていただき、
遺言書にその使途を明記していただくことも可能です。

ご寄付の特典（謝意）

特典内容	対象の寄付金額
感謝状の贈呈	100万円～
寄付者銘板(大)にお名前を掲示	
寄付者銘板(中)にお名前を掲示	50万円～
寄付者銘板(小)にお名前を掲示	10万円～
本学オリジナル生製品の贈呈	10万円～
ホームページにお名前を掲載	1万円～

ご寄付のお申し込みはこちらから→
<https://kikin.chiba-u.ac.jp/howto>



お名前が掲示される寄付者銘板(左)は、西千葉キャンパスのけやき会館(右)内に設置されています。



コーヒーなどの本学オリジナル生産品を贈呈いたします。感謝状には千葉大学のシンボル「やよいの鐘」がデザインされています。
 ※写真は参考例です。種類は選択できません。

税制上の優遇措置

寄付金額の年間合計が2,000円を超える場合は控除の対象となり、確定申告を行うことで税制上の優遇措置を受けることができます。

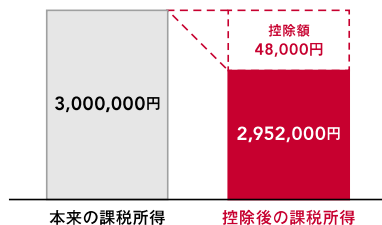
所得税の「所得控除」について

千葉大学基金へのすべてのご寄付で受けられます。

控除額 = 寄付金額^{※1} - 2,000円

寄付金額から2,000円を差し引いた額が当該年の課税所得から控除されます。

例 課税所得300万円^{※7}の方が**5万円**を寄付した場合



50,000円 - 2,000円 = **48,000円** が課税所得から控除されます。

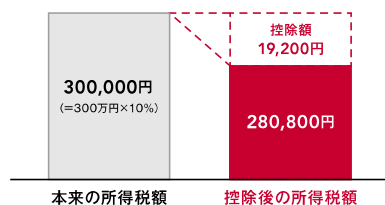
所得税の「税額控除」について

「修学支援」および「若手研究者支援」へのご寄付のみ選択可能です。

控除額^{※2} = (寄付金額^{※1} - 2,000円) × 40%

寄付金額から2,000円を差し引いた額の40%が当該年の所得税額から控除されます。

例 課税所得300万円^{※7}(所得税率10%^{※3})の方が**5万円**を寄付した場合



(50,000円 - 2,000円) × 40% = **19,200円** が所得税額から控除されます。

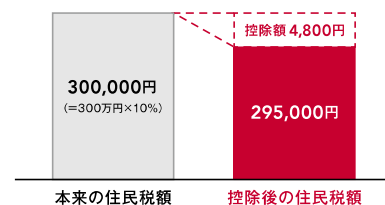
住民税の控除について

お住みの都道府県・市区町村が定める条例によっては、住民税の控除が受けられます。^{※4}

控除額 = (寄付金額^{※5} - 2,000円) × 10%^{※6}

寄付金額から2,000円を差し引いた額の10%が翌年の個人住民税額から控除されます。

例 千葉市在住(住民税の税率10%^{※5})、課税所得300万円^{※7}の方が**5万円**を寄付した場合



(50,000円 - 2,000円) × 10% = **4,800円** が住民税額から控除されます。

左記の所得税の控除とあわせて適用されます。

「所得控除」または「税額控除」のいずれかを、ご寄付者が選択できます。

※1 所得税の控除対象となる寄付金の合計額は、総所得金額の40%相当額が限度です。

※2 所得税の税額控除額は、所得税額の25%相当額が限度です。

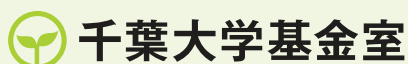
※3 所得税率は、課税所得金額によって異なります。

※4 住民税の控除が受けられるかどうかは、お住みの自治体へお問い合わせください。

※5 住民税の控除対象となる寄付金の合計額は、総所得金額の30%相当額が限度です。

※6 住民税の税率は、お住みの都道府県や市区町村により異なります。

※7 課税所得額は所得税と住民税で算出方法が異なるため、同じ収入でも差が生じる場合があります。



043-290-2014

bib3902@office.chiba-u.jp

ご寄付に関するご相談は、千葉大学基金室までお気軽にお問い合わせください。

千葉大学基金ホームページ
kikin.chiba-u.ac.jp



基金の管理運営について

学内に設置した基金運営委員会において承認された活動計画により寄付募集活動を行い、事業実績・収支についてはホームページに掲載し、透明性を確保しております。また、監査は学長が指名した2名で行われております。寄付のお申し出が、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力又は団体の影響を受けている場合には、寄付をお断りし、その者の費用で返金させていただきますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

本学は、「国立大学法人千葉大学個人情報取扱基本指針」に基づき、提供された個人情報を利用目的の範囲内に限って取り扱い、その正確性を保持し、安全性を確保するなど、個人情報の収集・管理等に関する適正な取り扱いを確保するよう努力いたします。ご寄付により取得した個人情報につきましては、本学からの領収書とお礼状の送付、本学から寄付者様にご連絡する必要がある場合や寄付者様の顕彰に関する業務のほか、各学部同窓会での名簿管理に利用します。



千葉大学交友会
 facebook



千葉大学交友会
 Instagram

